ふじのくに静岡ITS推進協議会の取組

平成26年2月13日（木）
静岡県交通基盤部道路局道路企画課

1　静岡県内におけるITSの取組

ITSの代表的な施策

項目	内容	県内の取組
①ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝｼｽﾃﾑの高度化	VICSや情報板を通じて、最適経路・道路交通情報の提供。	・渋滞情報（VICS）の表示（公安委員会）
②自動料金収受システム	ETC等。駐車場などの料金徴収の自動化などに応用期待。	・スマートIC設置の促進
③安全運転の支援	ドライバーに対する危険警告や、車線維持などの運転支援。	・ITSスポットの設置（国土交通省・NEXCO）
④交通管理の最適化	経路誘導・公共交通優先信号制御。	・光ビーコン設置 ・信号の最適化（公安委員会）
⑤道路管理の効率化	災害や工事事務所等による通行規制情報等の提供。	・道路交通規制情報管理提供システム ・Webカメラ設置
⑥公共交通の支援	公共交通の運行状況を提供。	・ﾊﾞｽﾛｹｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ（民間） ・公共車両優先システム（公安委員会）
⑦商用車の支援	効率的な配車計画の支援。隊列走行。	・清水港船舶係留情報システム
⑧歩行者の支援	歩行者等に経路・施設案内などを提供。	・すごめぐり223 ・みちナビしずおか
⑨緊急車両の運行支援	緊急時の自動通報、緊急車両の経路誘導。	・現場急行支援システム（公安委員会）
⑩次世代自動車の普及	持続可能な交通社会の実現。	・ふじのくにEV・PHVﾀｳﾝ構想

1　静岡県内におけるITSの取組（交通基盤部道路局）

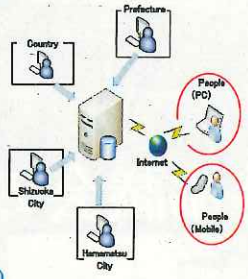
交通基盤部道路局では、各道路管理者が持つ県内の道路情報を共有し、県民に通行規制情報を提供する静岡県道路通行規制情報管理提供システムや、交通情報を扱う道路管理者や交通事業者の携帯サイトのリンク集となる陸海空の“みち”ポータルサイト「みちナビしずおか」を運営しています。

静岡県道路通行規制情報管理提供システム

URL　http://douro.pref.shizuoka.jp/kisei/program/

道路通行規制情報等の共有

各道路管理者のシステムを連携して、通行規制情報等を、共有化しています。

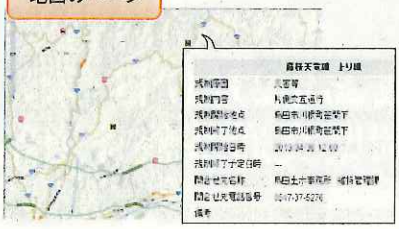


道路通行規制情報等の提供

情報提供を行うWebサイトのトップページでは、道路通行規制の原因の種類ごとに表示の色を変え、規制箇所を表示し、地図のページでは、規制の詳細情報を提供してます。

トップページ

地図のページ

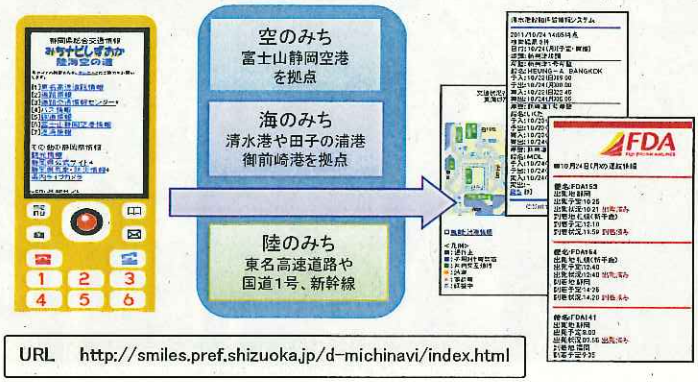


ライブカメラ情報

道路管理者が設置したカメラ画像もWebサイト内で提供しています。

陸海空の“みち”ポータルサイト「みちナビしずおか」

交通情報を扱う道路管理者や交通事業者の携帯サイトのリンク集を運営しています。



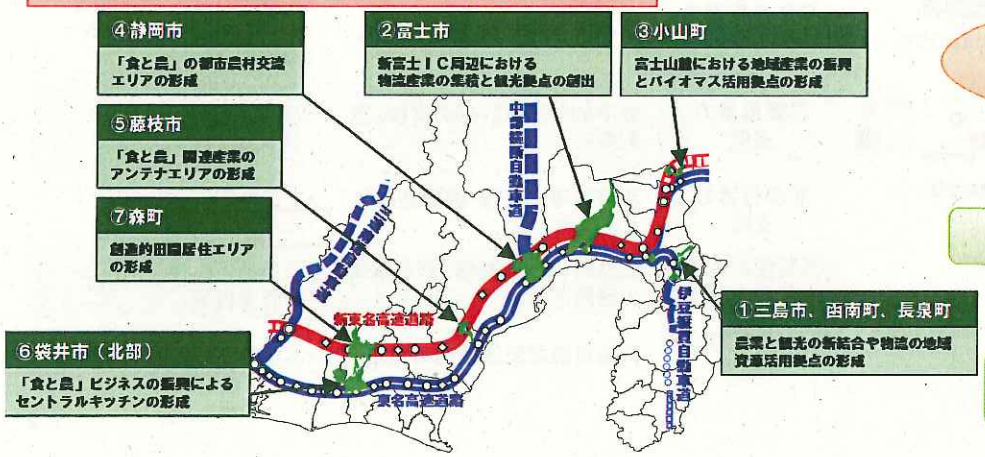
URL　http://smiles.pref.shizuoka.jp/d-michinavi/index.html

2　ふじのくに静岡ITS推進協議会の設立

1　新東名高速道路の開通により東海道新時代が幕開け

2　「内陸のフロンティアを拓く」

ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区が指定



3　ITSの活用による可能性

- ○安全・安心な社会の実現
- ○環境にやさしく効率的な社会の実現
- ○利便性が高く快適な社会の実現

・関連技術は多岐にわたり、新しい産業や市場を作り出す可能性を秘めています。

静岡県におけるITSの取組

ふじのくに静岡ITS推進協議会

・最新のITS技術の情報共有・活用
・ITSに関連した取組の連携

目標

「誰でも、どこでも快適に移動できる社会」

安全・安心で魅力ある
ふじのくにの実現

2　ふじのくに静岡ITS推進協議会の設立（平成25年3月27日）

目的

協議会は、「誰でも、どこでも快適に移動できる社会」を実現するため、ITSの最新技術の情報を共有し、静岡県におけるITSの推進を図ることを目的としています。

委員

所　　属	役　職
静岡県交通基盤部	部　長
企画広報部	県理事
文化・観光部	部　長
経済産業部	部　長
危機管理部	危機管理監代理
静岡県警察本部　交通部	部　長
静岡県	CIOアドバイザー

顧問

県知事、副知事、静岡県地域整備センター理事長

アドバイザー

所　　属	役　職	名　　前
慶應義塾大学	名誉教授	川嶋　弘尚
東北大学大学院情報科学研究科	教　授	桑原　雅夫
慶應義塾大学理工学部管理工学科	専任講師	松本　修一

オブザーバー

所　　属	役　職
国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所	所　長
浜松河川国道事務所	所　長
沼津河川国道事務所	所　長
中日本高速道路株式会社 東京支社総務企画部企画調整チーム	チームリーダー
特定非営利活動法人　ITS Japan	専務理事

3　協議会の取組（視察・セミナーの開催）

○トヨタ東富士実験場の視察

日　　時　平成25年4月24日（水）
視察項目　・研究所　・衝突試験場
　　・ITS搭載車試乗　・FCインフラ

H24に東富士研究所内に新設された「ITS実験場」を視察

【ITS実験場】
3.5haの敷地内に、市街地コースを整備。さらに、路車間通信装置、車両検知装置、歩行者検知装置、コース監視装置、交通信号機・制御装置などを設置している。
道路環境が様々に変化する公道では実施困難な試験・評価を、繰り返し実施することでより信頼性の高い安全運転支援システムの早期実用化を目指している。

○ ITSセミナーinふじのくにの開催

日時　平成25年5月29日（水）
【第１部】記念講演
「震災時の交通行動モニタリングと緊急支援物資の流れの記録」
　講師：東北大学大学院情報科学研究科　桑原雅夫　教授
【第２部】意見交換会
「静岡県におけるITS活用の可能性について」
　話題提供：ITSの現状と今後の取組
　講　　師：国土交通省道路局ITS推進室 西川昌宏 企画専門官

記念講演

3　協議会の取組　（ゆずりあいロード支援システムの導入）

Yu・Zu・Ri・A・I Road Support System
～Heart＆Soul　of Japanese～

高知工科大学の熊谷教授らが研究開発した「ゆずりあいロード支援システム」について、高知県と同様に中山間地の多い本県への導入の可能性を検証するため、県道藤枝天竜線（島田市）において、平成23年に実証実験 を実施しました。

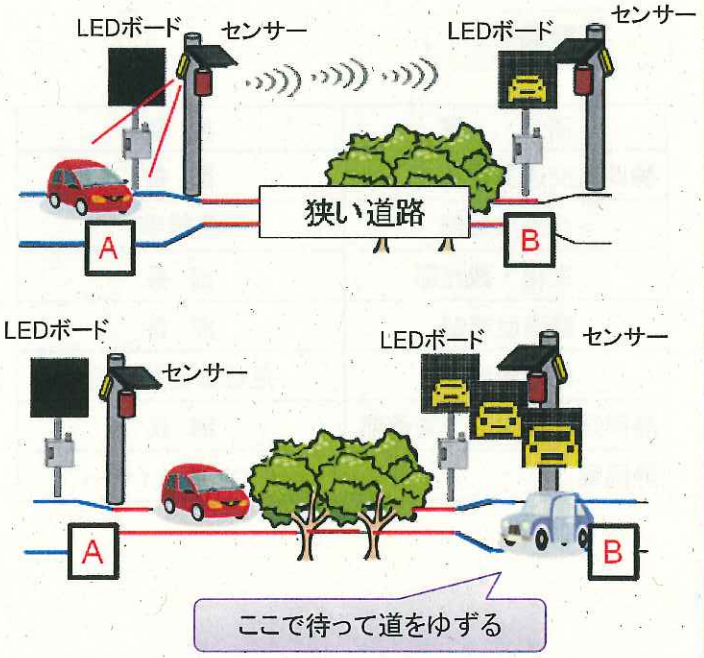
今年度、以下の3箇所にシステムを設置
○県道川根寸又峡線（地名トンネル）H25年7月
○県道川根寸又峡線（川根本町）　2箇所　H25年7月

川根本町奥泉（おくいずみ）

走行する車に対向車の接近を自動的に知らせ、すれ違いができる場所で待機する等の行動を促します。

「ゆずりあいロード支援システム」の概要

- 「中山間道路走行システム」の簡易型として開発
- 複数の狭隘区間をまとめて処理し、経済性や汎用性に優れる
- 無線通信を行い、対向車情報を簡易表示（ピクトグラムのアニメーション効果）
- 機器は小型で省電力なため、太陽電池が利用可能



3　協議会の取組　（EV・PHVの普及促進）

ふじのくにEV・PHVタウン構想
EV・PHVを中・長距離移動の主流に！
東西交通の大動脈を活用した普及モデル

静岡県では、環境にやさしい電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHV）の本格的な普及を図るため、県民・企業・行政等が一体となってEV・PHVの普及促進に取り組んでいます。

2013年度までの普及目標　車両：3,776台（電動二輪を含む）

（H25. 2）　2,812台
（H22.12）　512台　※約1,100台/年増加

中小企業の次世代自動車産業への参入支援
ー地域企業の新たな部品部材の開発や販路開拓を支援していますー

最新のEVをまるごと分解展示

首都圏展示会で県内の新技術・新製品をPR

○富士山EVフェスタの開催

世界遺産に登録された富士山の豊かな自然環境の中、EV・PHV などが県内外から集い、環境性能などの魅力を発信するパレードや展示・試乗会を行いました。

開催日　平成25年８月１日（木）
主　催　静岡県
会　場　富士山スカイライン（水ヶ塚駐車場（裾野市）、新五合目駐車場（富士宮市））
参加者　電気自動車普及協議会、県内外ＥＶ関連企業、市町、ハワイ州政府、一般参加者

【パレードコース】

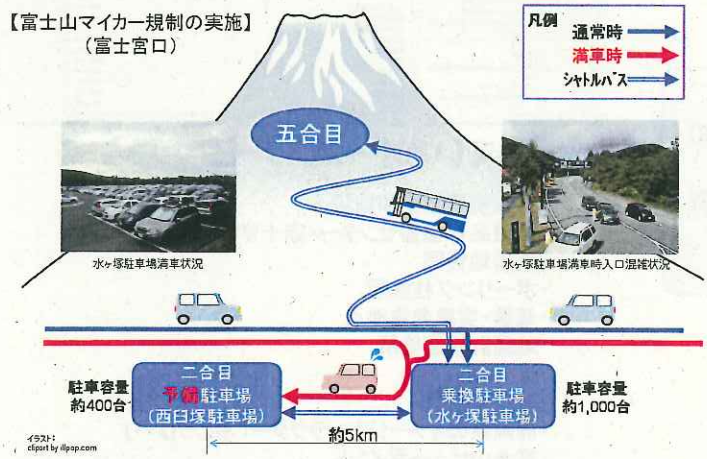
3 協議会の取組 （民間システムの利用）

○Twitterを利用した富士山マイカー規制乗換駐車場の利用状況の情報提供

導入の背景

静岡県では、富士山の来訪者に渋滞のない安全で快適な交通を確保するとともに、富士山の環境を保全するため、富士宮口は平成6年から、須走口は平成19年から、海の日の三連休や旧盆期の週末等にマイカー規制を実施しています。

富士宮口では、マイカー規制期間中、マイカーでの来訪者は、2合目にある水ヶ塚駐車場にて、シャトルバスに乗り換え、5合目に向ってもらいます。



富士宮口の水ヶ塚駐車場の混雑状況については、これまで交通整理人や立看板でお知らせしていたため、来訪者は現地に来なければ駐車場の状況が分かりませんでした。満車の場合には、水ヶ塚駐車場から約5km離れた予備駐車場に移動する必要があり、特に今年度は、富士山が世界文化遺産に登録されたことにより、来訪者の増加が想定され、状況の改善が必要でした。

そこで、来訪者の負担を軽減し利用の平準化を図るため、ツイッターを活用して、駐車場の利用状況に関する情報発信を行いました。

情報提供の仕組み

情報発信の仕組みは簡単です。県と市の職員が交代で務める、現地運営本部・要員が、駐車台数に応じて、水ヶ塚駐車場の状況を、Twitterに入力することで、来訪者が、携帯電話やスマートフォンなどで、駐車場の状況を、事前に確認できるようにしました。

実施にあたり、誰もが簡単に入力できるように、情報発信する内容や、タイミングを定めたマニュアルを作成しました。

駐車場状況	情報発信内容（ツイート内容）
水ヶ塚駐車台数：730台以下	水ヶ塚は「空有」⇒駐車は水ヶ塚へ
水ヶ塚駐車台数：730台超過	水ヶ塚は「混雑」⇒駐車は水ヶ塚へ
水ヶ塚駐車場：満車（約1,000台）	水ヶ塚は「満車」、西臼塚は「空有」⇒駐車は西臼塚へ

改善の効果

・５９０人を超えるフォロワー
・駐車場利用者の２８％の方が活用

⇒ 来訪者へのサービスの向上

3 協議会の取組 ～第20回 ITS世界会議 東京2013～

第20回 ITS 世界会議 東京 2013

“Open ITS to the Next”

静岡県では、県内におけるITSの取組をPRするため、他の自治体や地域ITS推進協議会と合同で展示会に出展しました。

本県のコーナーでは、EV・PHVなど次世代自動車の本県における普及促進の取組や、山間部の道幅が狭く見通しの悪い道路において、対向車の接近を伝えるシステムを導入した事例などを紹介するとともに、これらと併せて、昨年6月に世界文化遺産に登録された富士山の紹介も行いました。

開 催 日	平成25年10月15日（火）～18日（金） （17日、18日は、展示場一般公開）
開催場所	東京ビックサイト（開会式：東京国際フォーラム）

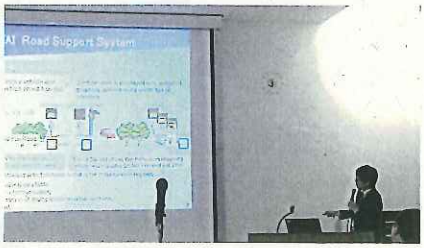
【自治体ブースオープニングセレモニー】

○静岡県のITSの取組をPR

【静岡県ブースの様子】

展示場の静岡県ブースには、4日間で350人以上の方が訪れ、関係者と様々な意見交換を行いました。

主な意見・要望
- 官の持つ防災情報等のデータのオープン化
- 複数のバス事業者のバス時刻表情報等の集約
- 事故が多い交差点の監視装置設置（解析）
- ゆずりあいロード支援システムの今後の展開



【ゆずりあいロード支援システムの導入事例を発表】

4 「ふじのくにオープンデータカタログ」の開設

静岡県は、平成25年8月27日、都道府県では初めて、
オープンデータの専用サイト
「ふじのくにオープンデータカタログ」を開設

http://open-data.pref.shizuoka.jp/htdocs/

オープンデータとは、行政や公的機関が蓄積した情報を、一般の利用者がいつでも取り出して利用できるようにしたデータのこと。
二次利用可能な形式でデータ提供し、それを活用することで、新たなサービスや産業の創出が期待される。

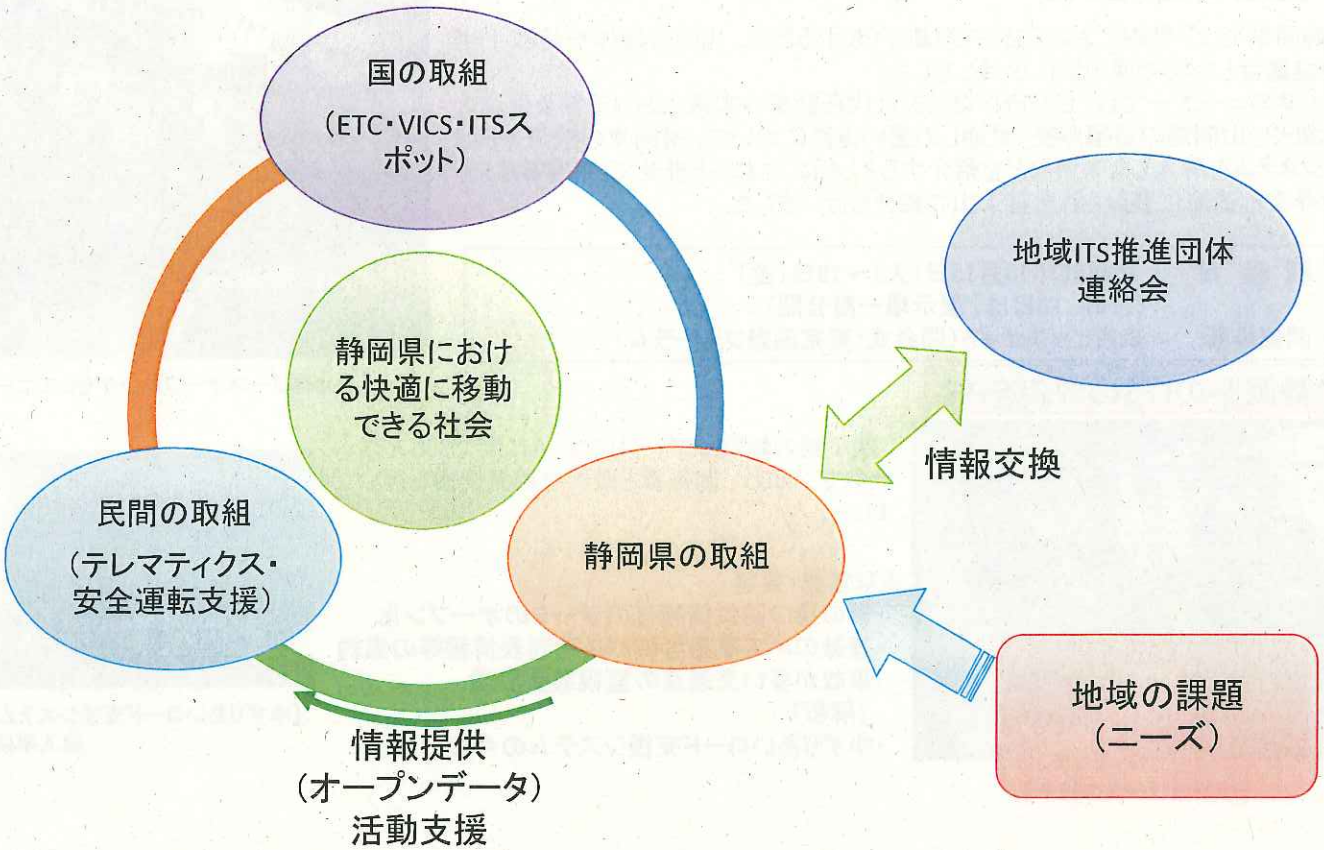
オープンデータの政策的価値

1）行政の**透明化**
2）県民と一緒に政策を考えていくという**県民参画**
3）オープンデータを活用して民間団体、企業が経済発展に繋げていくという**経済活性化、地域活性化**

公開しているオープンデータ

・一般廃棄物焼却施設
・医療品等備蓄センター・赤十字血液センター
・表層地質図
・ボーリング柱状図
・竜巻・突風発生地点
・地震計設置箇所
・道の駅
・道路照明灯
・静岡県のイメージキャラクター「ふじっぴー」
・富士山ビューポイント
・富士山休養林（遊歩道・標識）
・河川カメラ
・水位・雨量観測所
・横断（地下）歩道橋
・ふじのくにロケ地ガイド
・静岡県景観賞受賞地区
・伊豆の道風景30選
など91データ（静岡県65、裾野市26）（H26.2.10）

（情報政策課）

5 協議会における今後の取組

自治体レベルでは、全国共通となる大きなシステムや制度を構築することは難しい。